

5. 緑の基本方針

5.1 緑づくりの基礎

健全で良質な緑

緑の多様な機能（生態系サービス）が人々に十分に提供されるためには、植物の生育が良好であることや多様性があること（健全で良質な緑）が必要です。

健全で良質な緑の育成に向けては、地域の特性や植栽の目的に応じ、地域の風土に適合した植物を選定することが重要です。また、植栽された植物が健全に育つ植栽基盤について配慮していくことが必要です。

具体的には、植物の良好な生育に必要な土壌環境の基本的条件を整えるため、土壌調査や試験などを行い、土壌改良や施肥等により物理性や化学性を改善し、植物の生長に適した植栽基盤の整備が緑の効用を高める上で不可欠です。

特に都市部の緑化においては、植物にとって過酷な環境である場合が多いため、植栽地の条件を踏まえ、植物の選定や植栽基盤の整備などにより、質の高い緑化を目指す必要があります。

5.2 緑の機能

計画の理念の実現に向けては、緑づくりの基礎である「健全で良質な緑」が重要であり、その上で、本計画では、3つの緑の機能を示します。3つの緑の内容は次ページに整理していますが、3つの緑は相互に関連しあっており、多様な主体による連携や協働の取組により、これらの緑を効果的に『活用』することで、計画の理念である『豊かな暮らしを支える あいちの緑づくり』を目指します。



図58 本県の緑づくりを考える3つの緑のイメージ

本計画で示す3つの緑は、次のように整理しました。

いのちを守る緑

※本県の緑に関する課題の主に**環境・安全**に対応

緑は、環境保全や生態系サービスの提供、自然とのふれあいの場の提供などの機能を有し、私たちの生活や、生き物の生息にはなくてはならないものです。また、防災・減災に資する緑や、安全・安心で快適な生活環境の確保に向けた緑など、人や生き物の命を守る役割があります。

暮らしの質を高める緑

※本県の緑に関する課題の主に**生活**に対応

緑は、豊かな暮らしにつながるとともに、日々のストレス軽減や癒やし、健康増進や子どもの健全な成長を促す機能を有し、良好な心身を保つ上で、質の高い緑が身近に存在することが重要です。緑は、快適な生活環境を提供するとともに、QOL（生活の質）の向上などの役割を担っています。

交流を生み出す緑

※本県の緑に関する課題の主に**活力**に対応

緑は、交流の場、余暇活動の場などのレクリエーション機能を有している他、コミュニティの醸成の場としての機能も有しています。また、歴史・文化資源と一体となった緑は、地域の魅力を高めるなど、活力溢れる都市づくりを支える役割があります。

上記の3つの面から緑の機能を示していますが、これらの緑の機能を最大限に高めるためには、県、市町村、NPO、県民、民間事業者等が適切な役割分担のもと、緑を効果的に『活用』することが重要です。

※本県の緑に関する課題の主に**活用**に対応

3つの緑を効果的に活用する

5.3 3つの緑の基本方針

いのちを守る緑

～基本方針1～

緑の恩恵を享受し、自然と調和し災害にも強い緑の都市づくり

- 人にとっても生き物にとっても「緑」は欠かせない存在であることの共通認識を図り、緑を育む行動へと結びつけます。
- 都市づくりと連携しながら、緑が有する防災・減災機能を発揮し、私たちの安全・安心な暮らしを確保します。
- 水と緑のネットワークの形成と生物多様性の確保に向けた取組をさらに推進し、都市に暮らす私たちが、自然にいきる生き物とともに快適に暮らせるよう、まちと自然が調和した持続可能な都市の緑づくりを目指します。

Keyword :

「防災・減災」「生物多様性の確保」「水と緑のネットワーク」「意識・啓発」

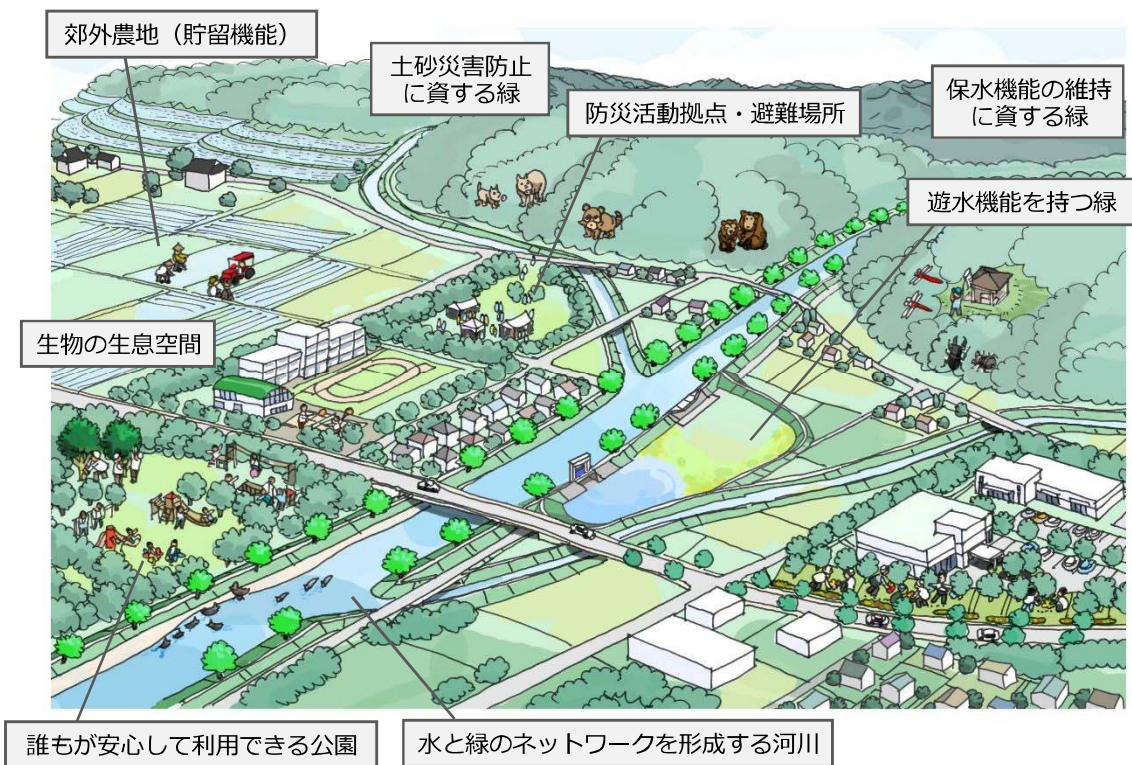


図59 いのちを守る緑のイメージ

暮らしの質を高める緑

～基本方針2～

良好な生活環境とQOL（生活の質）を高める緑の空間づくり

- 多様なニーズやライフスタイルがある中で、緑により誰もが居心地が良い空間を創出し、県民の生活の質の向上に資する緑づくりを進めます。
- 心身の健康にとって必要となる自然との触れ合いの場や、公園などのオープンスペースの充実を図ります。
- 四季の移ろいを感じられる花と緑の活用や、自然を身近に感じられる場の創出を図り、風情があり安らぐ緑の空間づくりを進めます。

Keyword :

「QOL（生活の質）」 「健康増進・健康維持に資する緑」
「花と緑のまちづくり」 「高齢者・子育て支援」

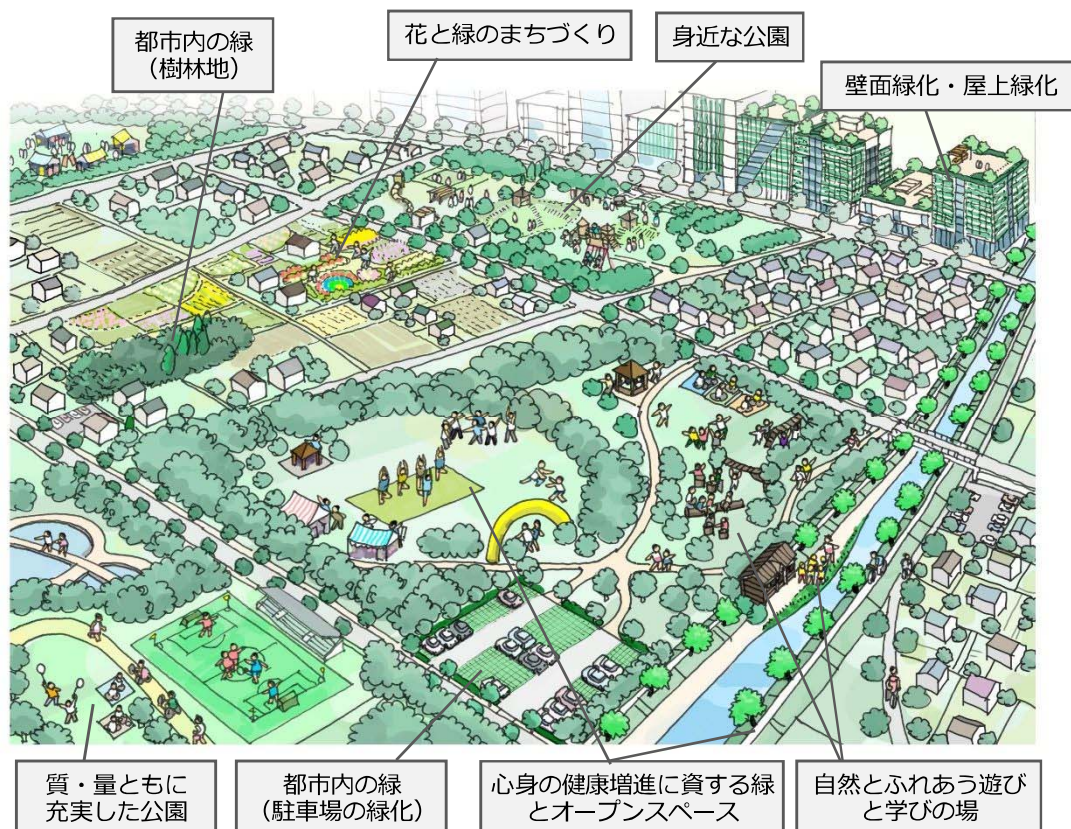


図60 暮らしの質を高める緑のイメージ

交流を生み出す緑

～基本方針3～

多様な主体との連携と地域の特性を活かす緑づくり

- 交流を通じてコミュニティを醸成し、県民の暮らしに彩りを添えることの出来る緑の創出と活用を進めます。
- 愛知らしい固有の緑を効果的に活用・PRすることで、地域の特色を活かした魅力向上を図ります。
- 多様な主体が相互にコミュニケーションを図りながら連携・協働し、緑の魅力やポテンシャルを引き出す緑づくりを目指します。

Keyword :

「地域コミュニティ」「交流」「歴史・地域資源」「イベント」
「連携・協働」「マネジメント」

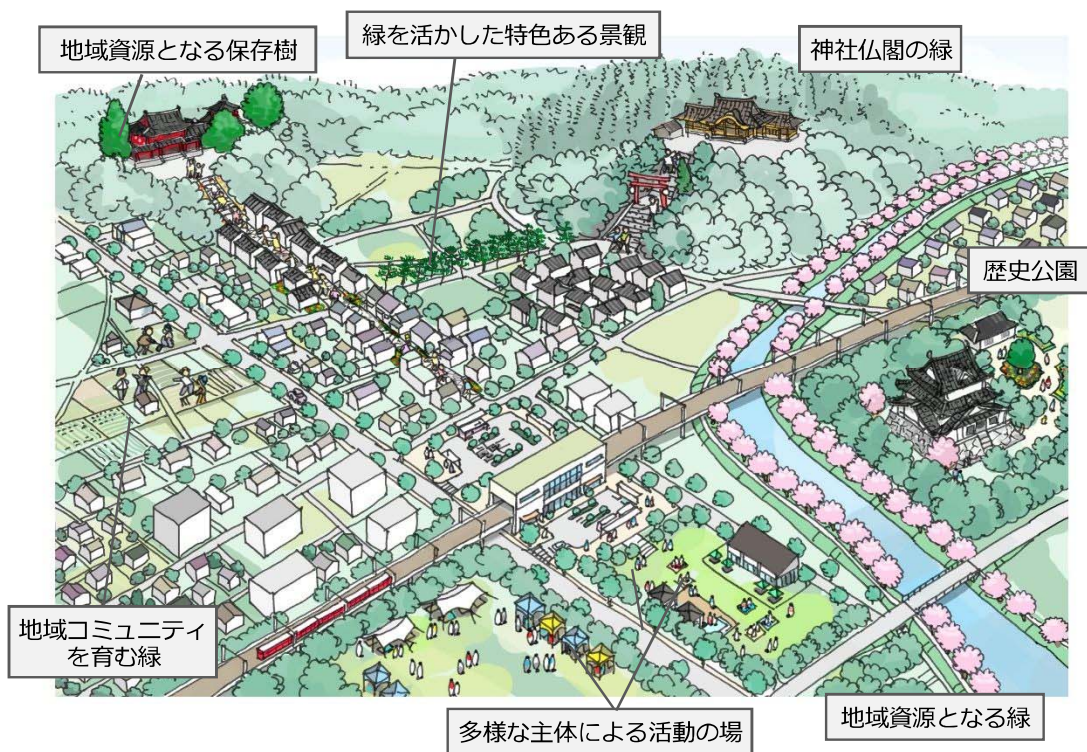


図61 交流を生み出す緑のイメージ